

令和 5 年度クラブアドバイザー等配置事業

令和 5 年度スポーツ振興くじ助成金の総合型地域スポーツクラブ活動助成「クラブアドバイザー等配置事業」によりクラブアドバイザー、中間支援組織業務担当者を各 1 名配置しました。

令和 5 年度の活動報告は下記の通りです。

○配置期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

○配置日数：146 日（クラブアドバイザー）、150 日（中間支援組織業務担当者）
（総合型クラブへの指導日数 146 日、未設置市町村への普及・開発活動日数 19 日）

○実施した事業の内容

- ①派遣回数：総合型クラブ未設置地域 8 回、創設準備クラブ 11 回、設立済クラブ 31 回
- ②会議回数：群馬県総合型地域スポーツクラブ総会・常任委員会 5 回、地域スポーツ推進団体連絡会議 4 回、登録審査委員会 3 回

○主な指導・助言内容

- ・創設クラブへ設立までの流れと必要書類等の点検・助言
- ・市町村とクラブとの連携及び創設支援
- ・登録・認証制度の説明及び申請手続きの支援
- ・運動部活動地域移行に伴う情報提供、
- ・コロナ禍で減少の会員増を図るためのイベントや広報活動の紹介
- ・スポーツ団体の法人化取得に向けた情報提供
- ・各会議関係の企画・立案・開催

○事業の成果

- ・全国登録（令和 5 年度後期登録）にむけて、県内連絡協議会に所属しているクラブに対し 8 月の登録認定審査会に向けて、より多くのクラブが全国登録に向けて申請を行うように、各ブロック別研修会において案内を行った。

また、県内 4 ブロックから 1 クラブを選び具体的な課題等を検証することで、県内クラブの質的充実を図るとともに、登録認証制度への理解を深めるため、推進団体連絡会議委員による全国登録に向けた県内クラブの実地調査を行った。

- ・8 月の審査会には、33 クラブ中 18 のクラブが申請を行った。新規の立ち上げについて申請がなく、昨年度から 1 クラブ減の結果 18 クラブが全国登録を行うことになった。

さらに、令和6年度の全国登録（本登録）に向けては、活動概要の聞き取り、実施種目の視察・調査、会則や定款の確認等のため、全国登録を希望するクラブを対象に登録審査委員による登録クラブの実態調査を行った。コロナ禍の影響で活動が上手くいかなかった2クラブから辞退がでて、結果16クラブが申請を行うことになった。（令和6年2月に審査会を実施）

- ・令和5年5月新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したことで、活動制限の緩和がなされ、停滞していた活動が動き始めたが、影響は色濃く残り、会員確保に苦労した。また、熱中症などの安全対策に力を入れた。各クラブではウィズコロナの考え方を基に安心・安全な事業を展開する中で、参加意欲を高揚させる魅力ある活動を工夫しながら、新規登録者はもとより一度離れた会員が再び会員登録できる環境の整備に努めた。
- ・スポーツクラブの中核を担う人材の養成・発掘を目指した「日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー養成講習会」を6年振りに開催した。
- ・群馬県教育委員会をはじめ、県内市町村教育委員会も学校部活動の休日移行について、実験的であるがモデル事業も始まり、中学校側も研修を行い実施に向け動き出している。各総合型クラブには、群馬県教育委員会と地域創生部が協働で示した推進計画について、総会時や広報誌、県内各ブロック別研修会等を通して継続的に情報提供を行い、受け皿としての持続可能なクラブ作りに努めている。



この活動はスポーツくじの助成金を受けて行っています。